

いわくらじょうあと  
**岩倉城跡**

— 中世の城郭跡 —

事業名 四国横断自動車道13次区間埋蔵文化財調査

調査委託者 西日本高速道路株式会社

調査受託者 財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター

遺跡名 岩倉城跡

場所 宇和島市三間町

調査面積 6,800m<sup>2</sup>



四国横断自動車道の建設に先立って、三間盆地の西部に位置する岩倉城跡の発掘調査を行いました。

調査の結果、中世末(16世紀頃)の郭や建物の跡などを発見することができました。



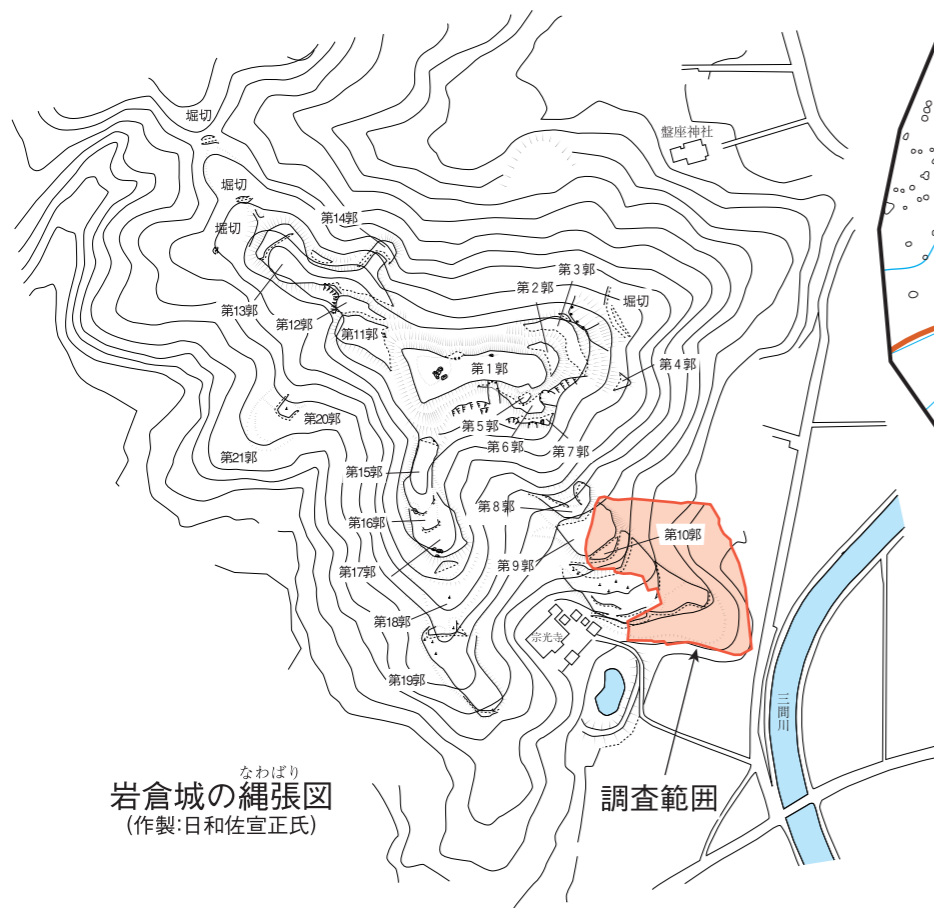
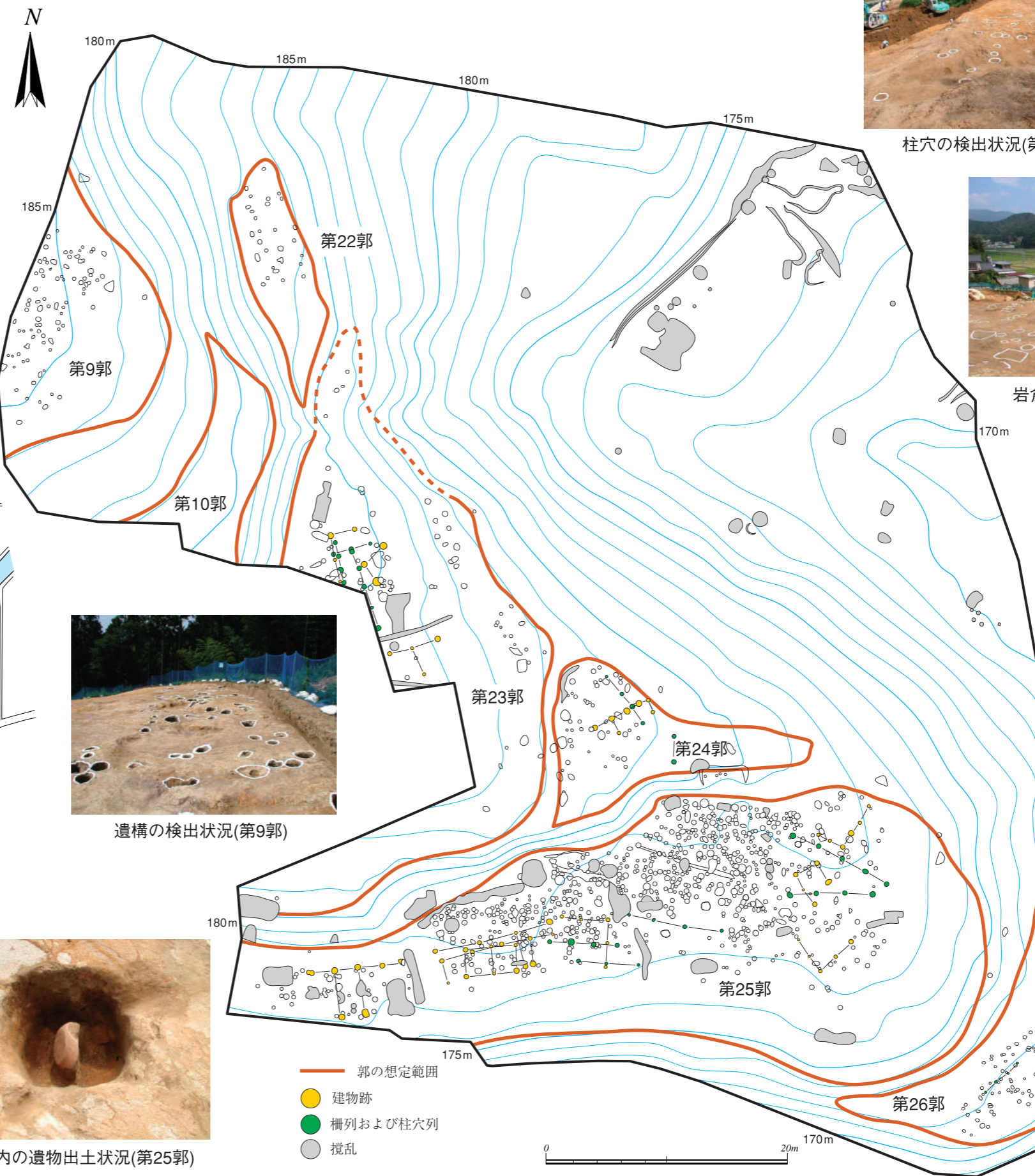
柱穴内の遺物出土状況(第9郭)



柱穴の検出状況(第22郭)



岩倉城から金山城を望む



なわばり  
岩倉城の縄張図  
(作製:日和佐宣正氏)

調査範囲



遺構の検出状況(第9郭)



柱穴内の遺物出土状況(第25郭)

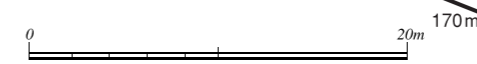
発見された遺構と遺物

【遺構】

- くるわ 郭...7
- 建物跡...13棟
- さくれつ ちゅうけつれつ 柵列および柱穴列...11基
- 柱穴...約900基
- どこう 土坑...約20基

【遺物】

- はじきつき 土師器(杯・皿)
- せいじ 青磁
- びぜんやき かめ すりばち 備前焼(甕・播鉢)



# 文献に登場する岩倉城

曾根村分

(中略)

「岩倉城跡あり。此城主松浦将監と申候よし、此落城は後西園寺御薨逝より前に没落之由、公廣御薨逝は永禄六年癸亥歟。」

○公廣の死去は天正十五年丁亥十二月十一日なり、永禄六年と記したるは能□寺の位牌に依りしものならん能□寺の位牌は公廣にあらざる也

『吉田古記』

## 【口語訳】

「岩倉城跡あり。この城の城主は松浦将監という。この城の落城は後西園寺御逝去より前になるといふ。西園寺公廣御逝去は永禄六（一五六二）年かと思われる。」

## （注釈）

公廣の死去は天正十五（一五八七）年十二月十一日である。永禄六年と記しているのは能□寺の位牌の記述よったものである。しかし、能□寺の位牌は公廣のものではない。



三間盆地の主な城郭跡

Memo